

所長の部屋

2024年9月



これからの結核診療のあり方について
その1

福島県 県南保健福祉事務所

Ken-nan Public Health and Welfare Office of Fukushima Prefecture

はじめに

我が国の結核罹患率は、2021年に人口10万対10人未満となり、やっとな欧米先進国と同様に、**低蔓延国**となった。

現在の感染者の傾向としては、高齢者と外国出生者が主流となり、今後もしばらくはこの状況が続くと考えられる。

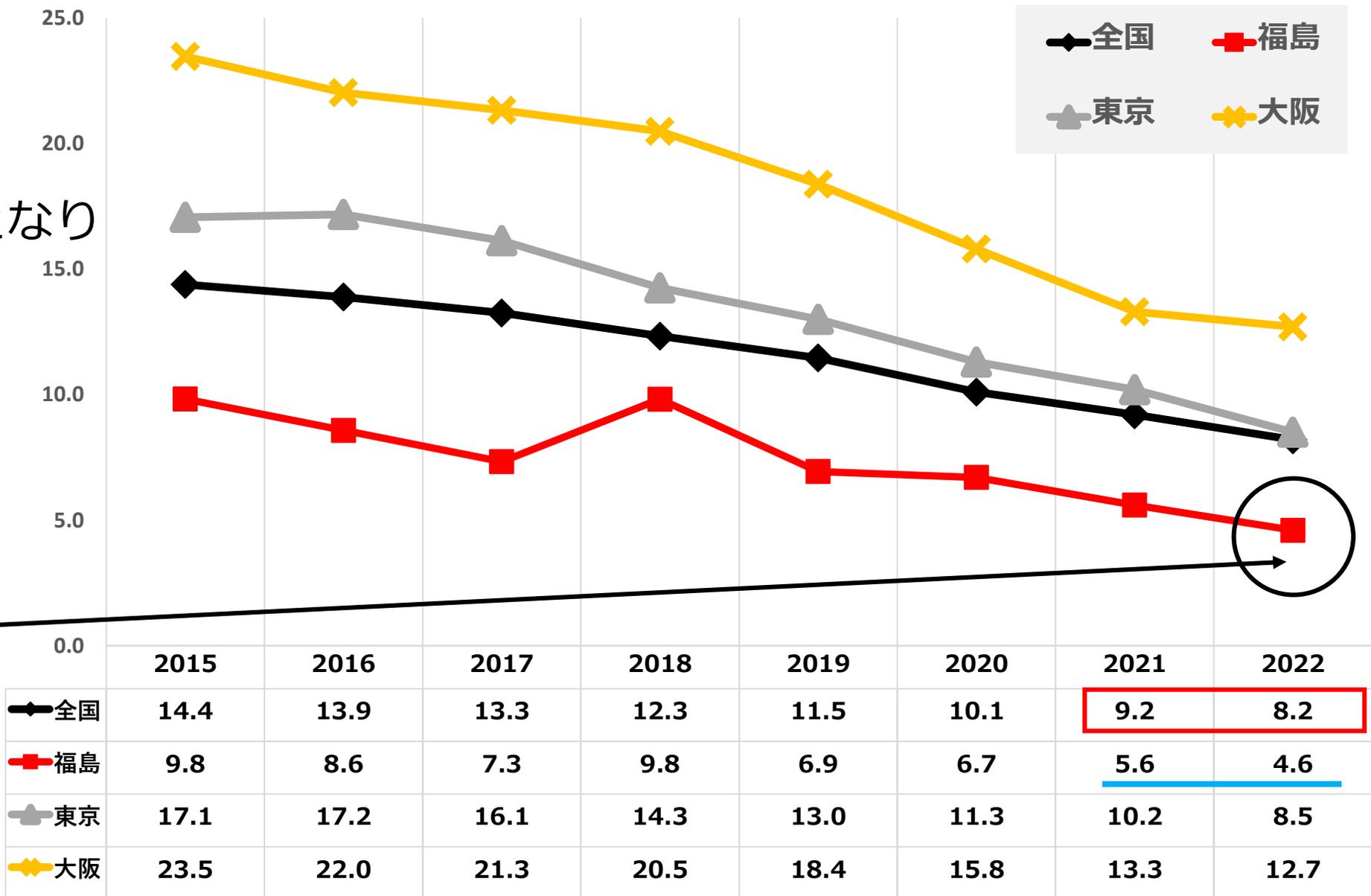
現在の結核医療制度と現状との間には、ずれが出てきており、早急な対策が必要である。

全国、福島県の結核感染状況と将来性の分析に基づき、**今後の結核診療体制の方向性、あり方について**、結核病学会・結核研究所等の関係機関の提言や発言を参考に、私見を交えて、考察した。

我が国における結核罹患率の推移

全国罹患率は
2021年に
10万人対10人未満となり
低蔓延国に

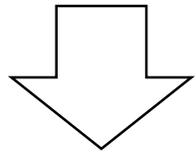
福島県は、
2022年
全国一低い罹患率に



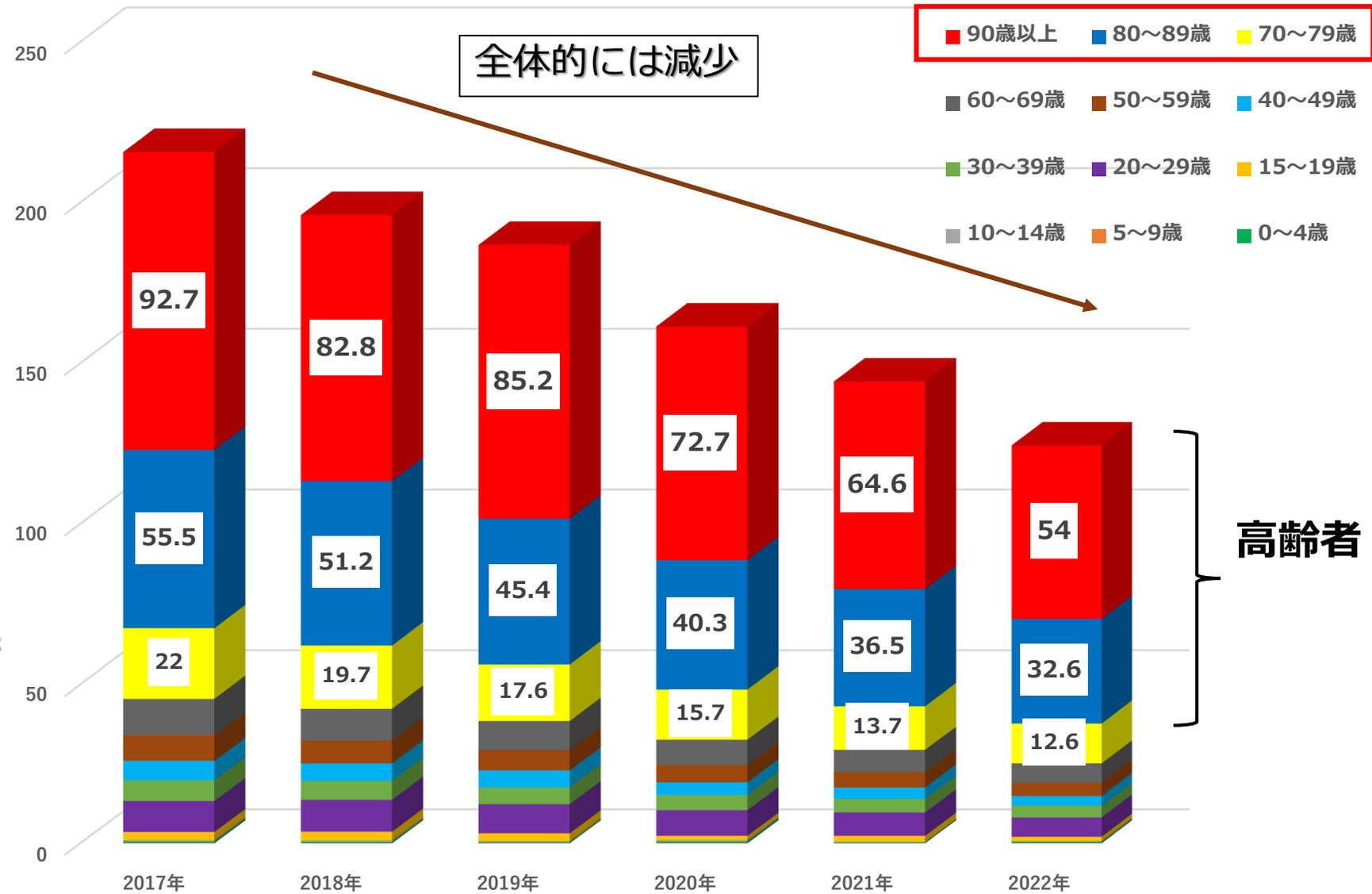
全患者における年齢別割合

患者数全体は減少

患者全体に占める
高齢者の割合は高い



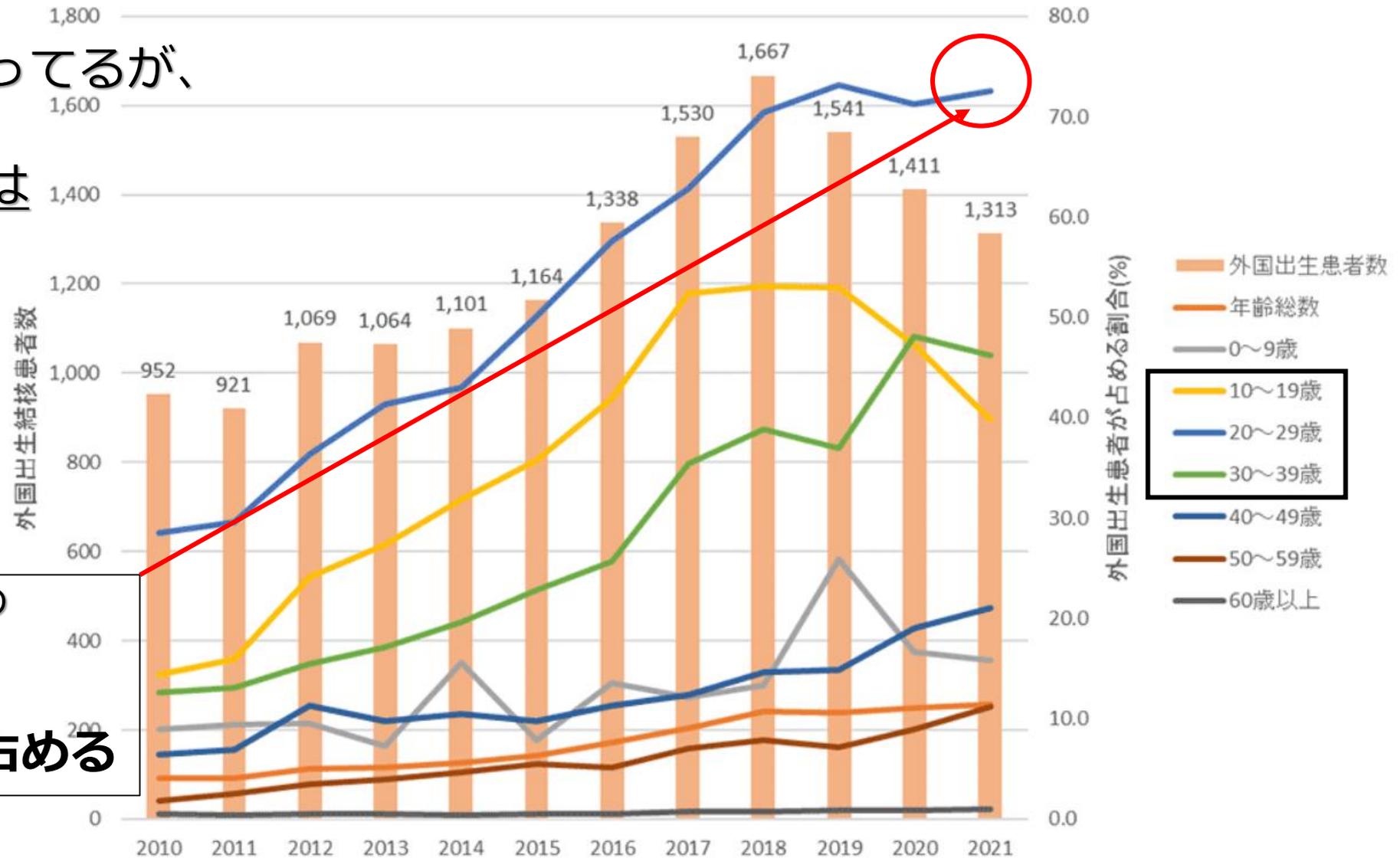
今後は、
結核既感染者が減ること
で
高齢者結核も減少する



高齢者

外国出生患者数、割合の推移

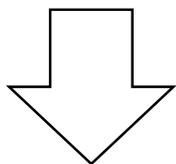
ここ数年患者数は減ってるが、
全患者に占める
外国出生患者の割合は
増えている



外国出生者の10~40代での
患者割合は高く、
特に、
20代では70%以上を占める

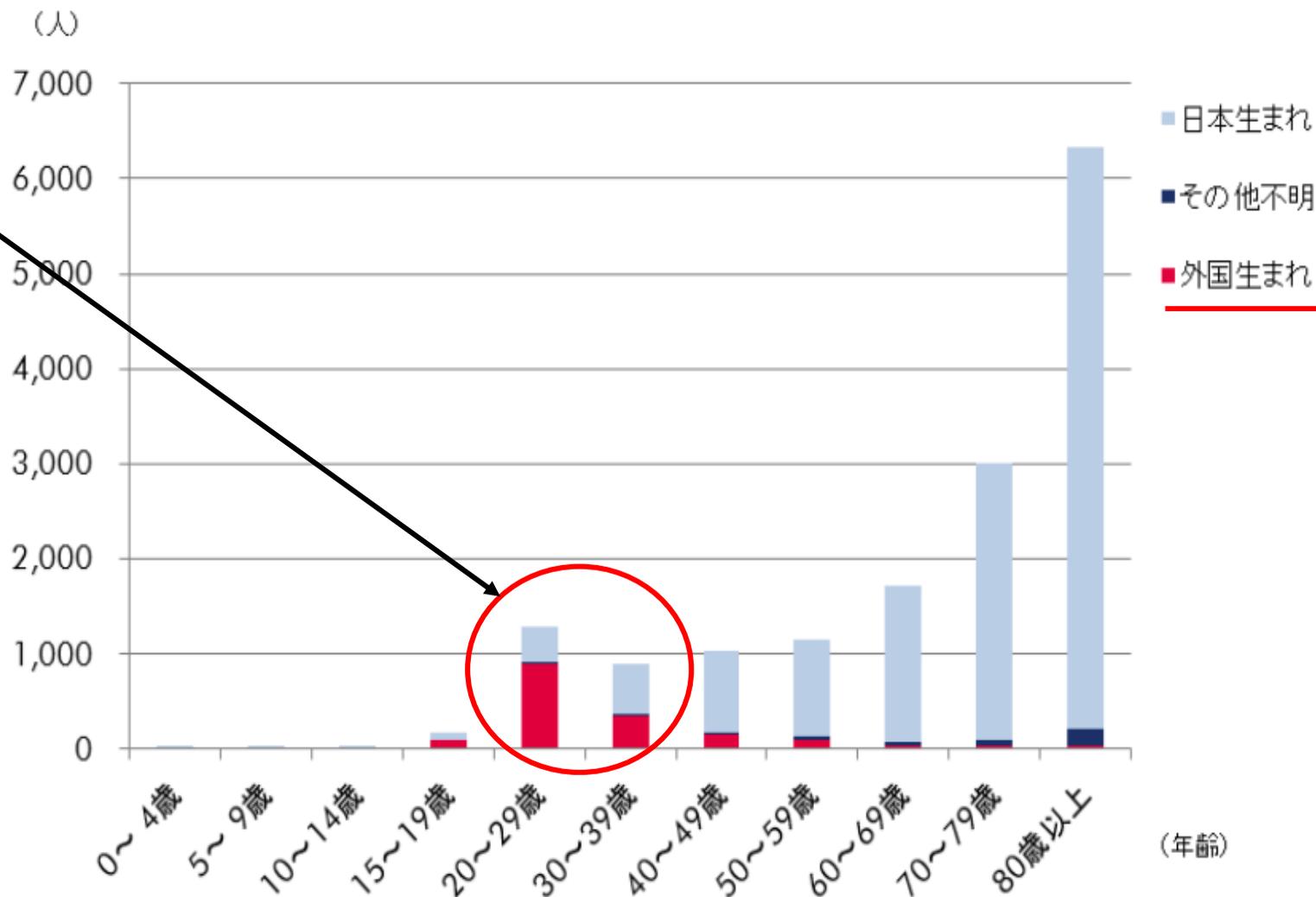
年齢別にみた出生国の違いによる患者の割合

60以上はほぼ日本人だが、
20代、30代では、
外国出生者の割合が高い



今後の感染状況は
高齢者感染
と
外国出生者感染

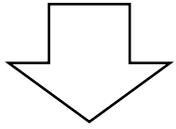
特に、こちらが今後の課題



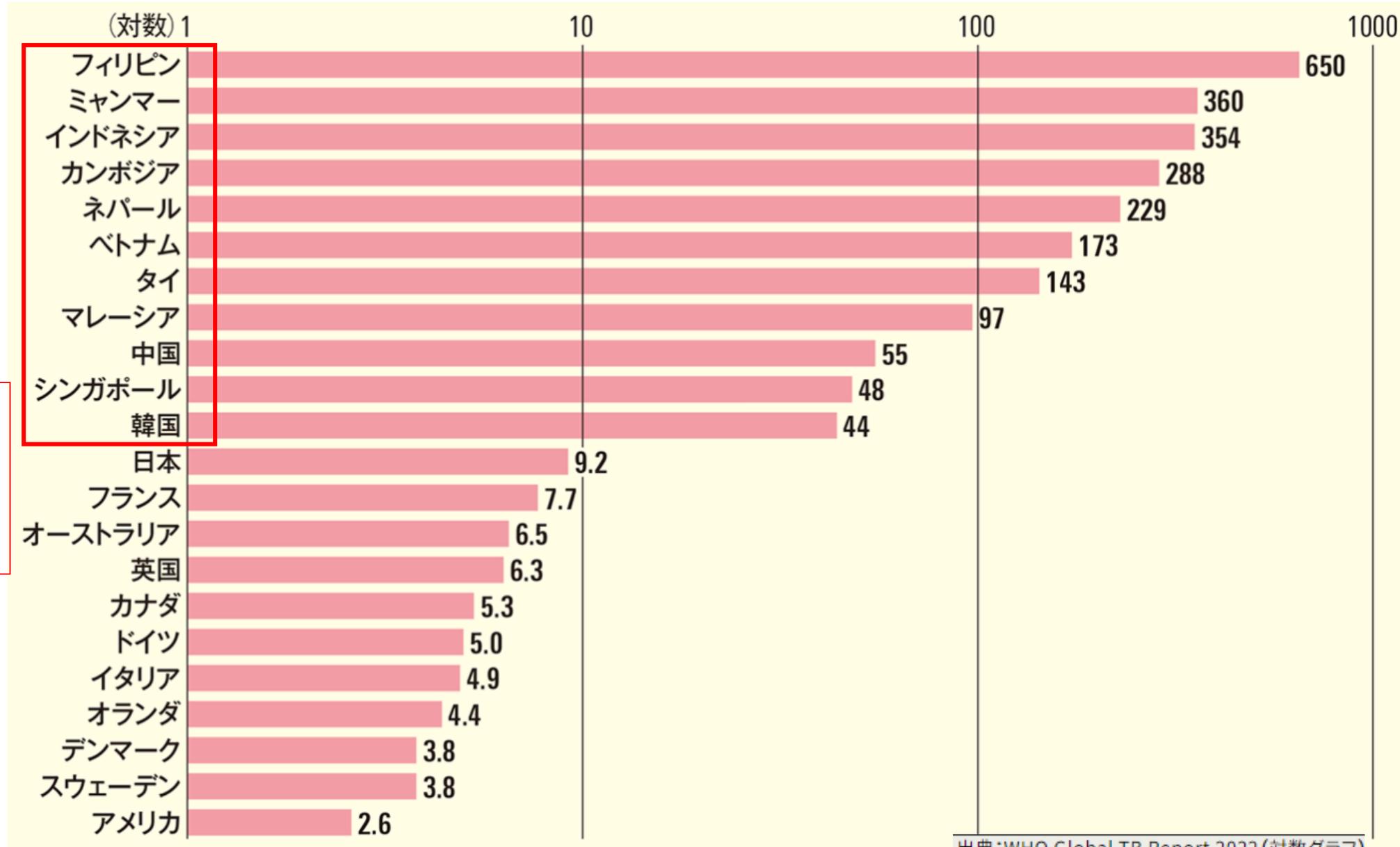
(厚生労働省 結核の統計2019から作成)

世界の結核罹患率

アジア諸国は、
まだ高蔓延国



技能実習生や
日本語学校生として
アジア各国からの
入国が多い

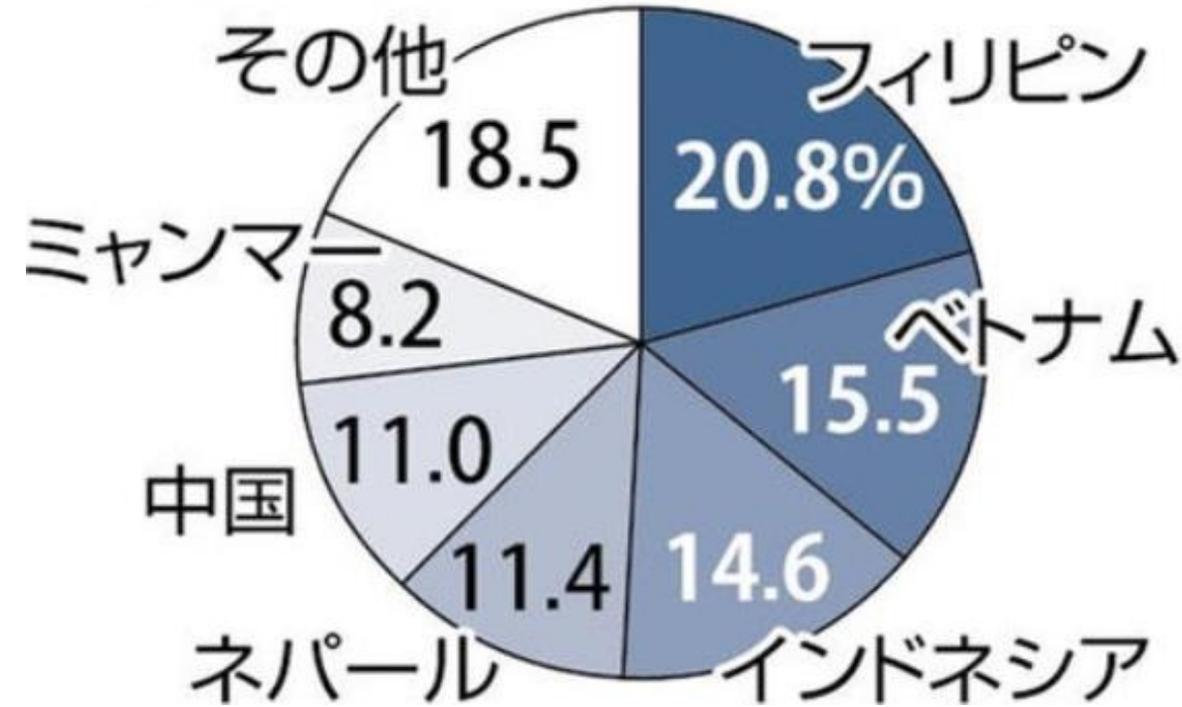


外国出生者結核の現状

日本滞在中に診断された結核患者数の多い6か国

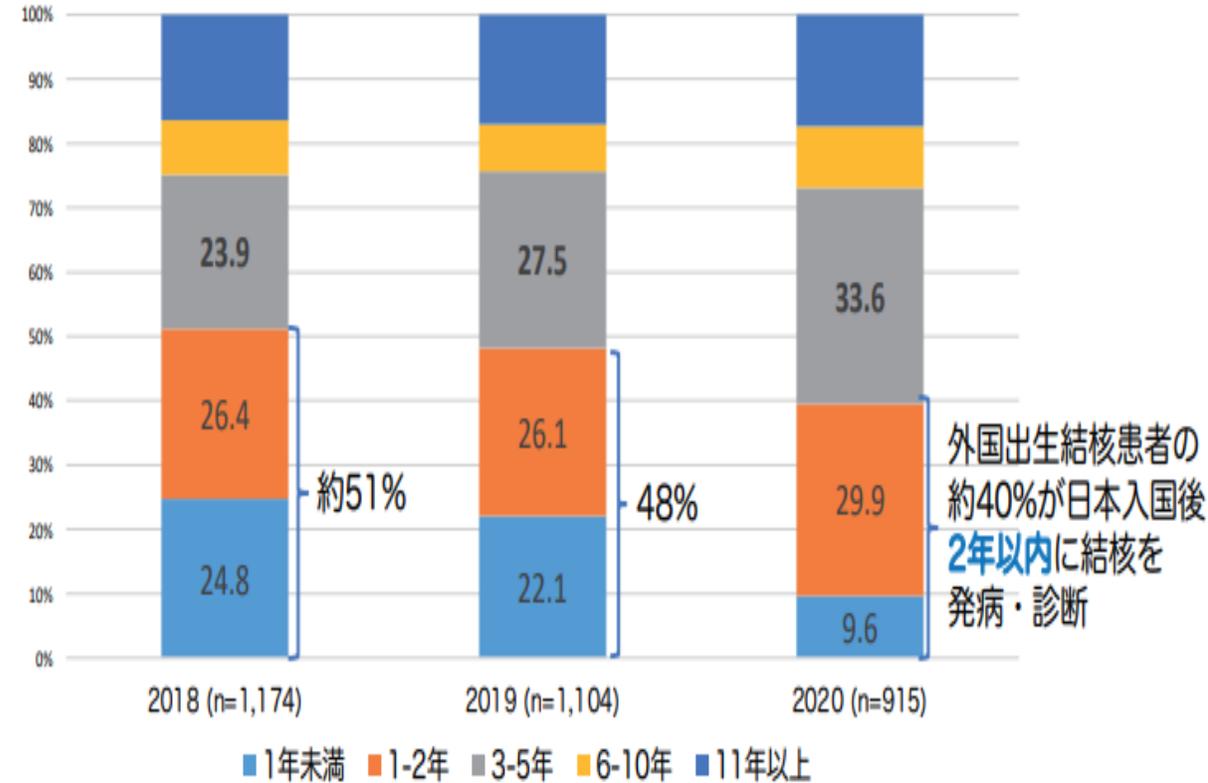
(2022年)

Tuberculosis in Japan: Annual Report 2022



80%以上が、アジア出生者

日本に入国後2年以内に結核を発病・診断される人の割合が多い



外国出生結核患者の約40%が日本入国後2年以内に結核を発病・診断

図 日本入国後、結核と診断されるまでの年数, 2018-2020年登録外国出生結核患者、年別

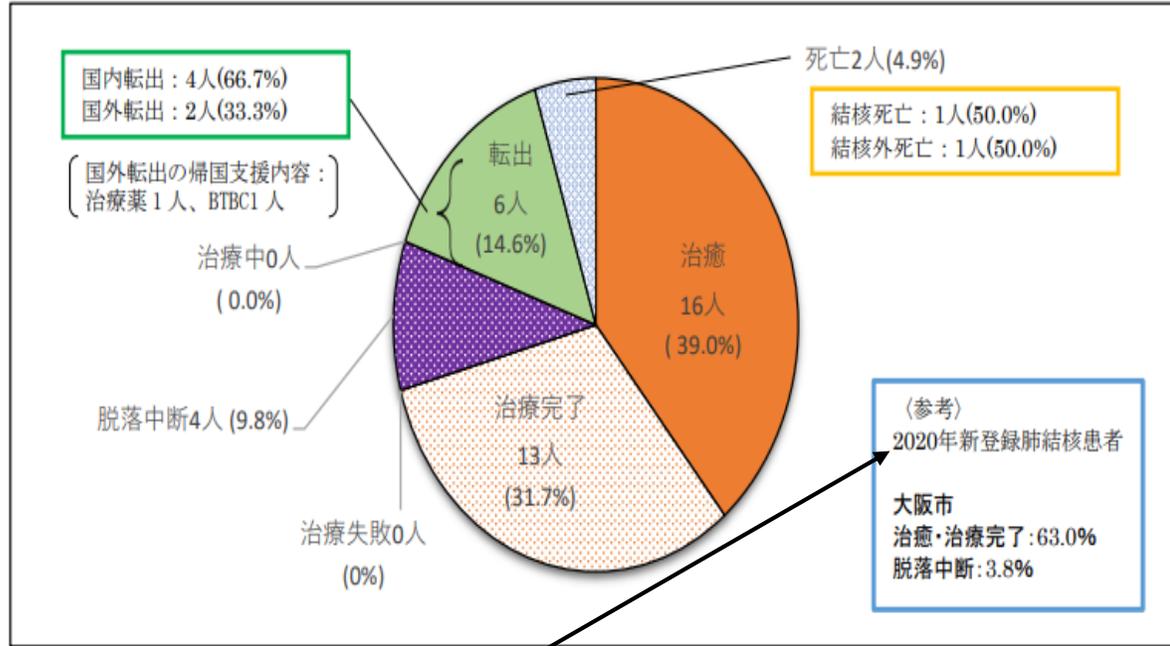
注: 母数から入国年不明は除いた。

引用: Tuberculosis Surveillance Center (2021). Tuberculosis in Japan – annual report 2021. Department of Epidemiology and Clinical Research, the Research Institute of Tuberculosis: Tokyo, Japan (グラフ作成: 結核研究所 臨床・疫学部)

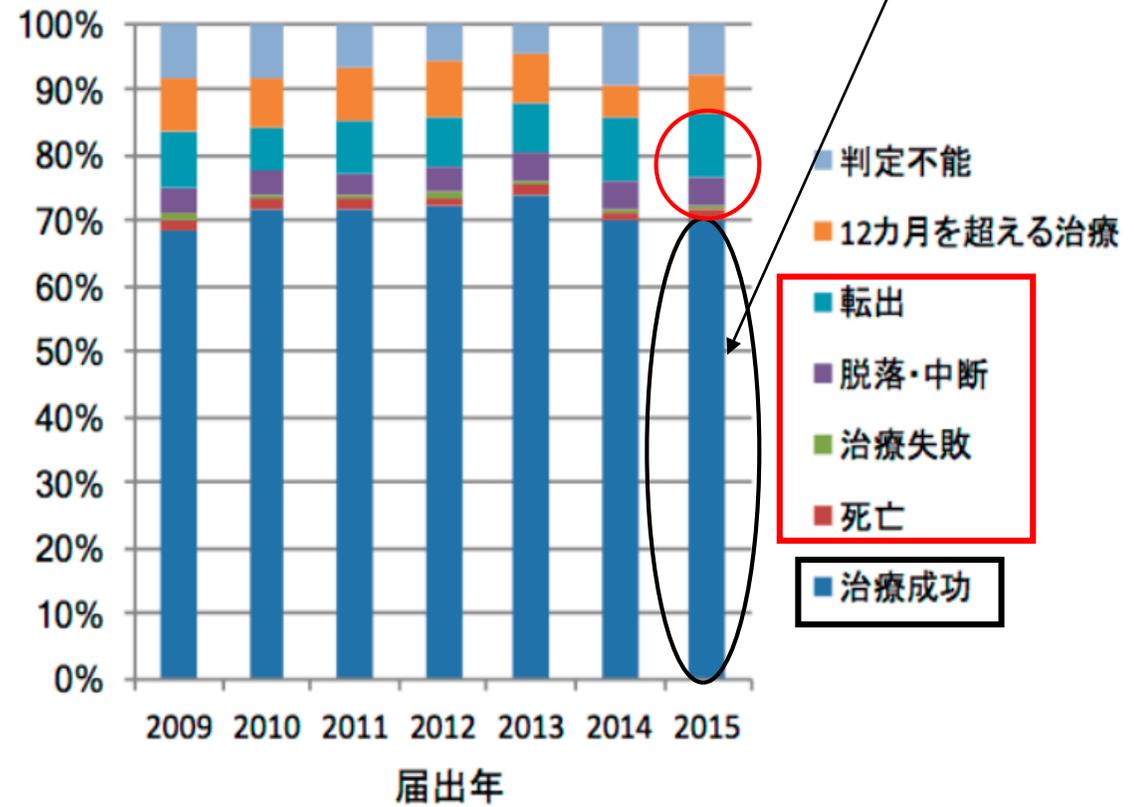
外国出生者結核の現状

図22 外国出生肺結核患者の治療成績 [コホート検討会に基づく治療成績]

2020年新登録外国出生肺結核患者 41人について検討



通常の場合、
標準治療成功は、約70% くらい



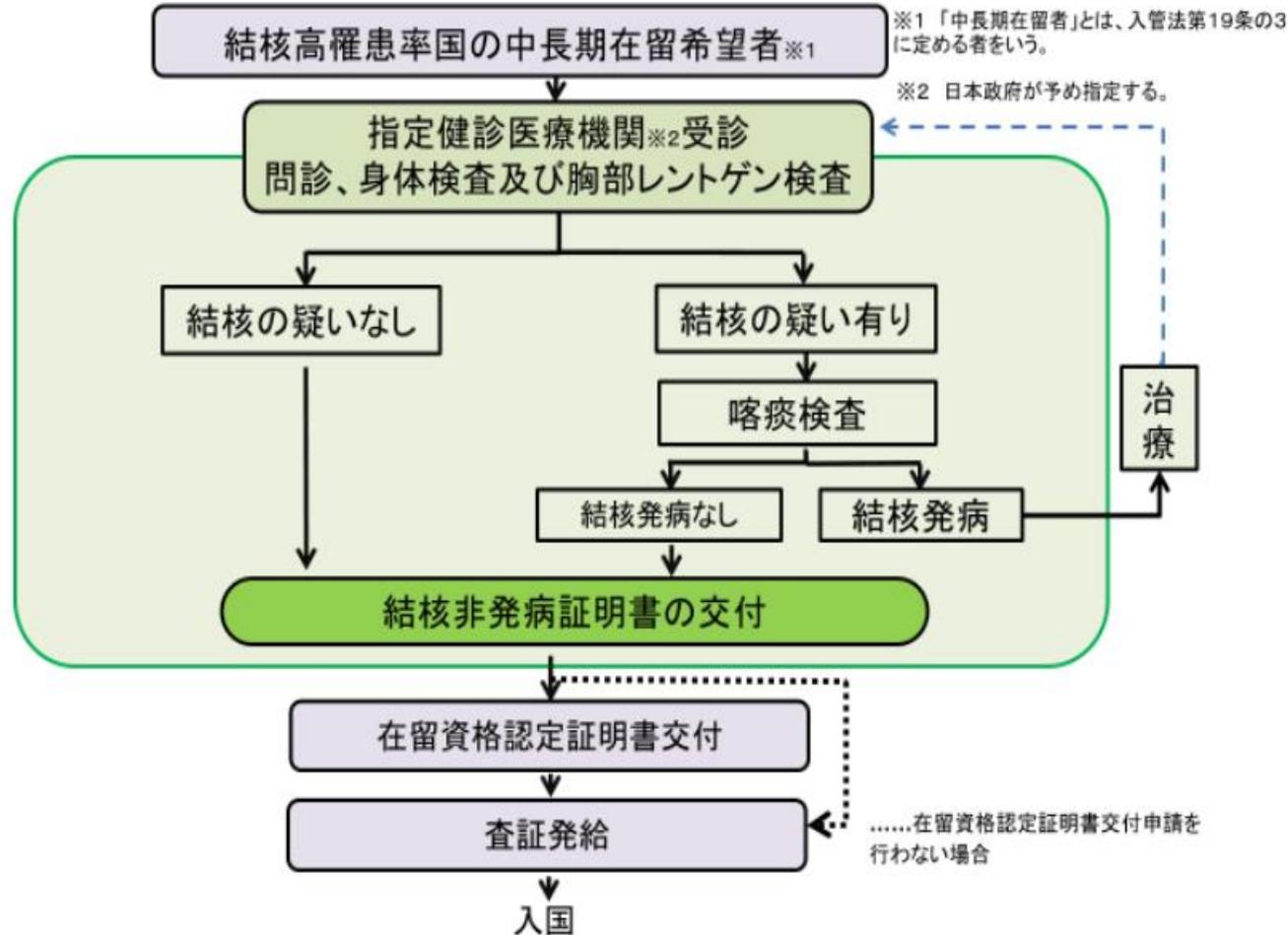
外国出生者結核では、
治療完遂・成功が、
約60% くらい

⇒ **今後の課題**

図2. 喀痰塗抹陽性初回治療患者の治療成績の推移、
0~49歳の2009~2015年届出患者

外国出生者結核対策

スクリーニングの流れ



結核を広げないためには定期健診・早期受診が大切です
～外国人を雇用される事業者の皆様へのごお願い～

近年の外国人労働者の増加に伴い、新規結核患者に占める外国生まれの患者の割合が全国的に増加しています。熊本県においても、令和3年(2021年)は過去10年のうち外国生まれの患者の割合が最多となっており、今後も増加していく可能性があります。結核を正しく理解して、外国人をはじめとした従業員の健康管理に努めましょう。

1. 結核とは？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症がおこる病気です。せきやたんが出る、微熱が続くなど、結核の症状は風邪によく似ています。結核は、せきやくしゃみとともに飛び散った結核菌が空気中をたどられ、それを吸い込むことで感染します。結核にかかっていることに気づかず治療が遅れると、病状を悪化させてしまうだけでなく、知らないうちに周りの人に感染させることもあります。感染した人すべてが発病するわけではありませんが、発病した場合でも、きちんと治療すれば治る病気です。また、患者の経済的負担を軽減させるため、医療費の公費負担制度も整備されています。



2. 定期健診、早めの受診が大切です

健康診断や気になる症状があるときには早めに受診することにより、結核を早期発見することができ、家族や職場など周りの人への感染を予防することができます。

●労働安全衛生法に基づき、事業者には健康診断の実施が義務付けられています。

健康診断の種類	対象となる労働者	実施時期
雇入時の健康診断	常時使用する労働者	雇入れの際
定期健康診断		1年以内ごとに1回

※厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署 作成リーフレットを参考に作成

自覚症状がないこともありますので、定期健康診断(胸部X線検査)の実施をお願いします。また、上記1に記載している症状がある場合には、早めに受診を勧めさせていただきますようお願いします。

福島県内の結核診療体制

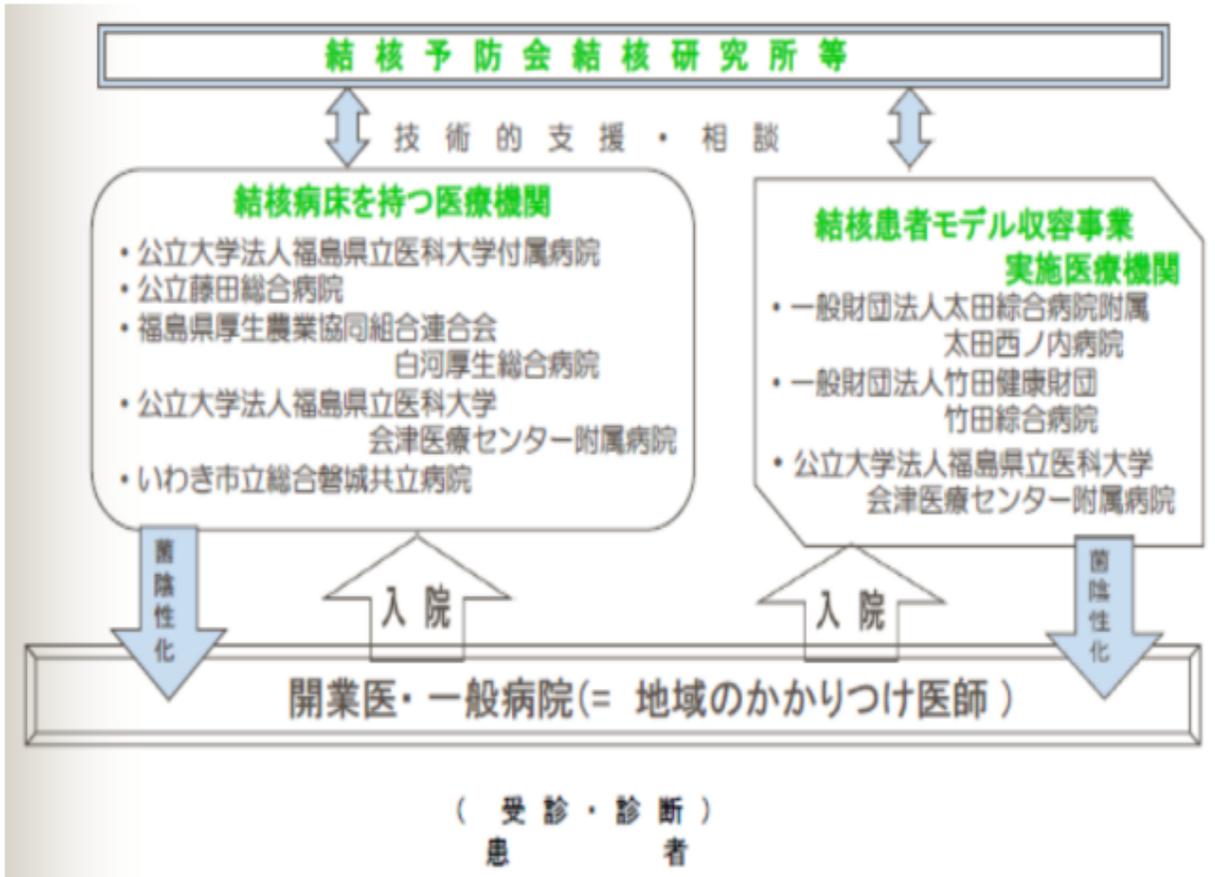
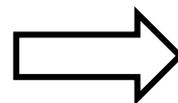
福島県医療計画 より

【福島県内の結核病床を有する医療機関】(平成29年4月1日現在)		
地域	医療機関名	病床数
県北	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	14
	公立藤田総合病院	12
県南	福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院	12
会津	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院	14
いわき	いわき市立総合磐城共立病院	46
合計		98

※いわき市立総合磐城共立病院は、平成29年2月20日より休床中

【福島県内で結核患者収容モデル事業を実施している医療機関】(平成29年4月1日現在)		
地域	医療機関名	病床数
県中	一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院	4
会津	一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院	2
	公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院	3

の病院は病棟休止中



いわきは病棟休止中、
白河は、少数なら入院可
実質的には、**3病院40床**が稼働
病院は県北と会津に集中

現状分析のまとめと課題

- 我が国の結核患者は減少傾向だが、
 周辺のアジア諸国はまだまだ高蔓延国
- 問題となる患者は、高齢者と外国出生者の二極化になりつつある
- 今後、高齢者結核は減少、
 外国出生者結核は増加または横ばいの可能性が大
- 福島県は全国でも結核患者が少ない県の一つ
- 県内の結核病床は減少傾向、結核病棟休止中の病院もある
- 県内の結核病床は、特定の地域に偏在しつつある

- 結核対策も、患者の傾向や現状に合わせていく必要あり
- 外国出生者結核対策の充実は急がれる
- 診療体制も、現状にあった対応、将来を考慮した対策が重要
- 患者数の減少に伴い、結核を診療できる医師も減少